

## 平成22年度における温室効果ガス等の排出の削減に 配慮した契約の締結実績の概要

国立大学法人東京海洋大学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成22年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

### 1. 平成22年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成19年12月7日閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の本格的な実施に向け、環境配慮型契約を推進を図ることとした。

### 2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている電気の調達、自動車の購入、船舶の調達、省エネルギー改修事業(ESCO事業)及び構築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務に関して、該当はなかった。

### 3. その他の環境配慮契約に係る事項

- 環境省主催の環境配慮契約法基本方針全国説明会に参加し情報を収集した。
- 学内において、環境配慮契約法及び基本方針に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約を推進するよう周知を図った。
- 環境物品等の調達の推進を図るための方針を策定し、これに基づいて環境物品等の調達を推進した。
- また、建築物の環境保全性能を向上させることに配慮した契約を推進することとし、以下のとおり実施した。
  - ・品川キャンパス附属図書館ホール改修に伴いLED照明を導入した。(13台)
  - ・品川キャンパスにおいて、10年以上前に設置された空調機を最新型の機種に更新した。(226台)
  - ・品川キャンパスの3号館電気改修工事について、エコケーブル及び高効率変圧器(3台)を採用した。
  - ・越中島キャンパス教室(1号館及び2号館)の照明について、一般照明からHf照明(高効率照明)に更新をおこなった。(205台)